



THIS IS
JAPAN QUALITY
日本のおいしい米。

全米輸案内

(令和4年7月11日版)

一般社団法人 全日本コメ・コメ関連食品輸出促進協議会

全米輸について

1. 名 称 一般社団法人 全日本コメ・コメ関連食品輸出促進協議会
2. 設 立 平成 27 年（2015年）8 月 13 日
3. 所在地 東京都中央区日本橋小伝馬町 1 5 - 1 5 食糧会館 6F
4. 代表理事 木村 良 （きむら りょう）
5. 会員数 61会員（令和4年7月11日現在）
6. ホームページ <https://zenbeiyu.com/jp/>
7. 事務局 電話番号：03-5643-1720 FAX：03-5643-1721
メールアドレス jimukyoku@zenbeiyu.or.jp

＜会員一覧＞

【正会員】54

合計61会員(令和4年7月11日現在)

米 (29)	
1	あおば農業協同組合
2	秋田なまはげ農業協同組合
3	板橋貿易株式会社
4	伊藤忠食糧株式会社
5	株式会社大湯村あきたこまち生産者協会
6	株式会社荻原アグリス
7	木徳神糧株式会社
8	金助農業株式会社
9	株式会社クボタ
10	ごしよつがる農業協同組合
11	有限会社小柳農園
12	庄内みどり農業協同組合
13	JA全農インターナショナル株式会社
14	株式会社シヨクレン北海道
15	株式会社神明
16	全国農業協同組合連合会
17	全国米穀販売事業共済協同組合
18	千田みずほ株式会社
19	株式会社種商
20	東洋ライス株式会社
21	株式会社名古屋食糧
22	株式会社馬場園芸
23	株式会社百笑市場
24	フィーノ株式会社
25	ホクレン 農業協同組合連合会
26	株式会社松原米穀
27	株式会社ミツハシ
28	みな穂農業協同組合
29	大和産業株式会社

日本酒 (15)	
1	天吹酒造合資会社
2	大関株式会社
3	尾畑酒造株式会社
4	菊正宗酒造株式会社
5	黄桜株式会社
6	小西酒造株式会社
7	コンタツ株式会社
8	玉乃光酒造株式会社
9	長龍酒造株式会社
10	日本盛株式会社
11	人氣酒造株式会社
12	白鶴酒造株式会社
13	モリタフーズ株式会社
14	株式会社安福又四郎商店
15	株式会社吉田酒店

米 菓 (4)	
1	岩塚製菓株式会社
2	越後製菓株式会社
3	株式会社鳴海屋
4	森白製菓株式会社

その他 (6)	
外食	元氣寿司株式会社
炊飯機器	鈴茂器工株式会社
米粉	株式会社波里
加工食品	株式会社ニチレイフーズ
包装米飯	株式会社プリミティブ・ドライブ
もち	株式会社ゆのたに

【贊助會員】7

賛助会員 (7)	
1	株式会社ヴォークス・トレーディング
2	株式会社ウーケ
3	熊本製粉株式会社
4	株式会社サタケ
5	株式会社隅田屋商店
6	全国米菓工業組合
7	株式会社むらせ

8. 目的

- (1) 我が国の良質な米・米関連食品の海外での需要の開拓・拡大を図り、世界のマーケットに届けるため、オールジャパンで取り組むべき共通課題の洗い出し・解決に向けた協力体制を構築すること。
- (2) 米、米関連食品輸出の拡大を通じて、我が国のコメ生産者の所得向上に資すること。
- (3) 米、米関連食品の輸出拡大に向けて、協議会会員間の相互の情報収集、共有を通じ、各種連携を促進し、必要に応じて輸出事業の共同展開に資すること。

全米輸事業について

全米輸では、前記の目的を達成するため、次の事業を実施しています。

- (1) プロモーション及び商談会等の実施を通じた日本産コメ・コメ関連食品の海外需要開拓
- (2) セミナーの開催等を通じた海外・輸出についての情報発信

入会について

1. 入会のメリット

会員のコメ・コメ加工品の輸出拡大を支援するため、以下の取組を実施いたします。

- (1) 全米輸が実施する海外でのプロモーション事業等への参加 (正会員)
- (2) 専門家による輸出関連相談対応 (正会員・賛助会員)
 - ・ 全米輸が契約した輸出に関する専門家がご相談に応じます。
- (3) 全米輸が主催するセミナー(市場の状況、対応策等)への参加 (正会員・賛助会員)

・ 全米輸事業で収集した海外情報(コメ・コメ関連食品の海外規制の状況、市場の動向)等、会員の輸出拡大に有効となるオンラインセミナーを実施します。

(2021年・2022年実施セミナー)

- 第1回 8月5日開催「主要輸出先国における日本産米市場」
- 第2回 11月17日開催「フランス・パリの食市場と輸出に向けてのヒント」
 - 「タイ・シンガポールでの販路開拓事業」
 - 「輸出の際の事前準備について」
- 第3回 2月22日開催「中小企業が取り組むべき海外販路開拓のデジタル化」
 - 「JETRO日本産食品サン ルショールーム事業の取組について」
- 第4回 6月7日開催「日本産米の優位性調査研究事業結果について」

- (4) 会員専用ホームページでの情報共有 (正会員・賛助会員)

会員専用ホームページにて、以下の情報発信を行います。

- ・ 専門家による海外マーケットについてのレポート(コメ・コメ加工品に特化した情報発信)
- ・ 最近のコメ・コメ加工品の規制改正の情報
- ・ 過去の事業実施結果の紹介 等

- (5) 輸出PR用のロゴマーク、PR用冊子、写真・動画等の提供 (正会員・賛助会員)

2. 会員の種類・年会費・事業参加負担金

(1)正会員 : 年会費 15万円

事業参加負担金 1事業参加につき20万円(令和4年度以降の上限金額)

(2)賛助会員: 年会費 3万円

(3)名誉会員: 年会費 なし ※名誉会員は理事長の推薦による法人、個人

3. 入会手続き

入会をご希望の場合、**入会申込書及び会社概要、国別輸出実績**をご提出いただきます。書類の受領後、理事会での承認を経て入会となります。**正式な入会**は、**会費の納入を確認した時点**となります。

これまでの取組成果(令和3年度事業)

(1) シンガポールにおけるコメ・コメ関連食品の認知向上・販路拡大事業

日系以外現地事業者を対象に、メディアイベント、ライブコマースによる日本産コメ・日本酒・米菓・米粉パンケーキミックス・米粉パスタの認知拡大と、現地大手コンビニとのリテールタイアップを通して、商品の認知向上と販売機会の拡大を実現し、約1,100万円の成果見込みにつなげている。



(2) ニューヨークにおける米菓セミナー・個別商談会



米菓の伸びが著しい(会員実績は2021年が金額で前年の2.5倍)米国市場において、より多くのバイヤーに、米菓への知識・市場ポテンシャルの高さなどを伝え、試食と組み合わせた商談会を実施。現地バイヤーは会場に、日本側会員はオンラインで参加。バイヤー側の積極的な姿勢もあり、約2,500万円の成果見込みとなった。

(3) オーストラリア マッチング商談会

移民受け入れで人口の増加が続き、日本食の普及も顕著なオーストラリアは、会員からの関心も高く、ディストリビューター、レストラン、小売りを対象にした商談会を実施した。コロナの感染拡大と重なったため、完全オンラインでの実施となり、試食用のコメはおにぎり弁当としてバイヤーに届けた。日本産コメ・パックライス・日本酒・米菓を揃え、時期的には難しい時期の開催になったが、約710万円の成果見込みにつながった。



(4) 日本産米の優位性調査研究

日本産米の優位性を科学的根拠に基づいて訴求する為に調査を実施。実際にアメリカの日本食レストランで使用している米国産米と日本からの輸出米を現地で脱気包装して3回輸入し、科学的な分析と、食味官能検査を実施して、優位性を明らかにする。また比較のため、日本で入手した日本産米も同じ分析を行い、日本産米の優位性を科学的に把握する事が出来た。



食味検査の様子

(5) 日本産コメ・コメ加工品ギフト品評会(上海)

中国では春節・中秋節等で家族・知人にギフトを贈る習慣があり、また企業が福利厚生として従業員にギフトを贈る事の多いため、ギフト需要に向けた日本産コメ・コメ関連食品(日本酒・米菓)の品評会を実施。中国への入国が難しい為、各社の現地スタッフが参加する形で、リアルな品評会を実施。その場で試食も行った。その時点ではコロナは沈静化しておりバイヤー側の購入意欲は高く、約1,400万円の成果見込みにつながった。



利き酒師プレゼン(米菓・日本酒)

(6) デンマークにおける日本産米・日本酒商談会

欧州における新規市場として、デンマークにおける日本産コメ、日本酒、米粉製品(パンケーキミックス)の商談会を行った。デンマークも感染拡大にぶつかり、完全オンラインとなり、コメの試食はお弁当形式。日本のコメ作りの水資源に対する考え方など、環境意識の高い北欧らしい質問もあった。初めての開催だったが、約850万円の成果見込みにつながった。



令和4年度実施の事業

全米輸では、日本産コメ・コメ加工品の輸出拡大のため様々なプロモーション・海外市場調査等を実施しています。令和3年度は、以下のような事業を実施いたしました。

①コメ・コメ関連食品のシンガポールにおける認知向上・販路拡大事業 「現地系レストランとフードコートを対象にした需要喚起」



日本産コメ・コメ関連食品がすでに普及しているシンガポールにおいて、現地系飲食事業者を活用し、現地ならではのコメ・コメ関連製品(日本酒・米菓・米粉)の利用の仕方を提案することで、更なる販売拡大を図る。

- 1、実施地域：シンガポール
- 2、実施時期：令和4年6月～11月(商談会は11月中旬)
- 3、実施内容：PRイベントを実施して日本産コメ・コメ関連食品の魅力を多くの人に知らせると共に、現地系のレストランのバイヤー・シェフに使用経験を作り、SNS等を使って顧客を誘導する。

②サウジアラビアにおける日本米及び米菓のプロモーション及び販路拡大事業



中東湾岸地域において最も人口が多く、経済規模も大きいサウジアラビアは、富裕層も多く、日本食への需要が高まっている一方、日本からの直接輸出が米菓を除き殆どなく、現地有力バイヤーに直接アプローチする事で新たな販路開拓と売上の拡大を図る。

- 1、実施国：サウジアラビア(リヤド)
- 2、実施時期：令和4年6月～10月(商談会は9月)
- 3、実施内容：日本産コメ・米菓を取り扱う可能性がある現地の卸売事業者、レストラン、小売店(スーパーマーケット等)を対象にした商談会を実施

③カナダにおける日本産コメ・コメ関連食品の流通開拓事業



日本食の人気の高まっているにも関わらず、北米のディストリビューターから日本食品を購入している事の多いカナダにおいて、直接取引に取組むことで、取扱量の拡大を図る。また日本酒については、エージェントの開拓と実需家としての日本食レストランの開拓を進める。

- 1、実施地域：カナダ
- 2、実施時期：令和4年9月
- 3、実施内容：日本産コメ・コメ関連食品の魅力を伝えるセミナーと商談会を実施する。農研機構が実施した「日本産コメの優位性」のデータも紹介。日本酒に関しては、日本酒の味の幅を伝えていく。

④アメリカ東海岸における日本産コメ、日本酒プロモーション(ニューヨーク)



高級日本食店・寿司店では日本産コメが扱われているニューヨークにおいて、外国産米を使っている日本食系中食・外食業者を対象に、商談会によって日本産コメ・コメ関連食品への切り替えを図る。日本酒は、その強みが活かせるシーフード系レストランの開拓に取り組む。

- 1、実施地域：アメリカ(ニューヨーク)
- 2、実施時期：令和4年6月～11月(商談会は10月)
- 3、実施内容：①コメは日本食系中食・外食業者を対象に商談会を実施
②日本酒はシーフード系レストランに対する試飲・商談会を実施

⑤アメリカ(西海岸)におけるコメ・コメ関連食品の流通開拓事業



円安が進み、カリフォルニア米との価格差が縮小している状況下、アメリカ西海岸の飲食・小売・卸売業者に日本産コメ・コメ関連食品をメニューフェアや商談会等を通じて、新規販路開拓と共に、今期中の成約を実現させ、継続的な販路を確立する。

- 1、実施地域：アメリカ（ロサンゼルス）
- 2、実施時期：令和4年12月
- 3、実施内容：①仕入れ業者向け商談会及び一般来場者向け無料イベントを実施
②LAの飲食店においてメニューフェアを実施

⑥チェーンレストランとの商談会及びメニューフェア(中国)



中級の日本食レストランチェーンで、日本産コメを使用していない企業を対象に、日本産コメ・日本酒・米粉の魅力を伝え、需要の開拓を図る。成約店に対してはメニューフェアを提案し、市場での日本産米の認知拡大と、チェーン店におけるメニューの定着を図る。

- 1、実施時期：令和4年6月～12月(商談会は8月)
- 2、実施内容：①中国のレストランチェーンを招聘し日本産コメ・日本酒の良さを伝える商談会を実施
②商談会で取扱いが決まったチェーン店に対しては、メニューフェアの実施。

⑦豪州におけるコメ・コメ関連食品の流通開拓事業



富裕層やミレニアル世代など「高くても良いもの」を評価する顧客を持つ現地系の日系飲食店との、日本産コメ・日本酒・米粉の商談会を実施し、市場の拡大を図る。また、成約した店の中で、希望に合わせてメニューフェアを行い、集客をサポートする事でメニューの定着を図る。

- 1、実施地域：オーストラリア(シドニー)
- 2、実施時期：令和4年10月
- 3、実施内容：①日本産コメ・コメ関連食品(日本酒・米菓・米粉)の商談会を実施する。
②商談が成約した店にはメニューフェアの実施、SNS広告などを使い集客をサポート。

⑧⑩台湾における現地飲食店向け商談会及びメニューフェア



日本産米や日本酒は認識しているも、シェフ自身で使ったことのないレストランを対象に、日本産コメ・日本酒・米粉を使ったメニューフェアを導入することで、市場の拡大を図る。

- 1、実施地域：台湾
- 2、実施時期：令和4年11月
- 3、実施内容：①現地飲食店団体との協力で、試飲・試食を兼ねた商談会を実施。
②日本産コメ・日本酒を使ったメニューフェアの参加者を募集し実施。

⑨英国における日本産コメ・コメ関連食品販促事業



アフターコロナの市場で質の高い食品による差別化を考える中食・外食関係者、ディストリビューターや小売店を対象に、幅広い相手との接点となる展示会への出展と、商品に関心の強いバイヤーを招聘する商談会の実施で、日本産コメ・コメ関連食品の需要開拓を図る。

- 1、実施地域：イギリス(ロンドン)
- 2、実施時期：令和4年9月
- 3、実施内容：①Specialty & Fine Food Fairへの出展
②参加会員の要望に合わせた成約の可能性の高いバイヤーを招いた、試食・試飲を組み込んだ商談会の実施

⑩ベトナム ホーチミンにおける日本産コメ・コメ関連食品の販路拡大事業



世界第二位のコメの生産国であるベトナムにおいて、富裕層を対象にした百貨店・小売店（日系スーパーを含む）や飲食店をターゲットに、日本産のコメ・コメ関連食品の販路拡大を図る。

- 1、実施地域：ベトナム(ホーチミン)
- 2、実施時期：令和4年10月
- 3、実施内容：①参加会員と現地コーディネーターの個別セッションを実施し、商談の準備
②着実に富裕層にリーチできる百貨店・小売店・飲食店とディストリビューターを招待して、商談会を実施。

⑪フランス(パリ)における日本産コメ・コメ関連食品販促事業



SIAL PARISに出展し、現地及び海外から来場するバイヤー、インフルエンサー、メディア関係者へ日本産米・コメ加工品への認知、販路拡大・商談及び市場視察を行い、新規販路拡大を図る。

- 1、実施地域：フランス(パリ)
- 2、実施時期：令和4年10月
- 3、実施内容：①現地の商習慣などについての事前セミナーの実施
②SIAL Paris(JETROブース)への出展
③企業訪問

⑫米国食品見本市への出展及びECサイトなどを通じた米菓販路新規開拓事業



日本のスナック菓子への関心が高まるアメリカにおいて、展示会での新たな流通の開拓と、既存流通での取り扱い拡大を図る。

- 1、実施地域：アメリカ(ラスベガス、ロサンゼルス)
- 2、実施時期：令和5年1月
- 3、実施内容：①Winter Fancy Food Showに出展、その場での商談。
②ロサンゼルスにおいて現地インポーター企業との商談



**JAPAN RICE AND RICE INDUSTRY
EXPORT PROMOTION ASSOCIATION**

＜お問い合わせ窓口＞

全米輸では、今後も日本産コメ・コメ加工品の海外需要開拓のために様々な事業を実施予定です。

この事業案内及びご入会についてのお問い合わせは、
以下の窓口までお問い合わせください。

電話：03-5643-1720 メール：jimukyoku@zenbeiyu.or.jp

担当：細田・仲地・田中

